



MONTHLY

# かわせみ通信

12月号

2021年12月

Vol.148

発行所



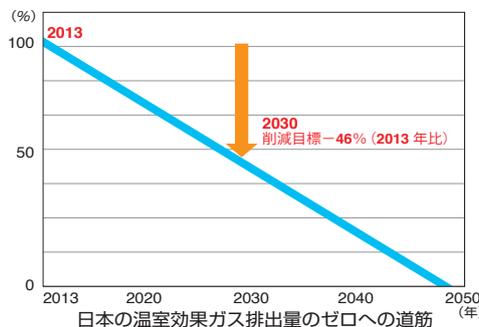
ECOLOGY & SCIENCE 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)

TEL.059-332-5122(代) https://www.tokai-techno.co.jp

## カーボンニュートラルが地球を救う! ~日本経済(国内産業)は救えるか?~

気候変動会議「COP26」で温室効果ガス削減に向けた政策が一挙に世界レベルで数値化され、“地球に生きるすべての未来のために”地球温暖化対策計画が動き出し、産業革命以来の世界規模の構造改革が始まった。地球は少し安堵しているだろうか。2050年カーボンニュートラルが実現された日本経済(産業)は、輝かしかつた昭和時代のように世界へアピールができるかを考えてみた。結論からいうと??が付いてしまう。各企業がESG投資などのために、水素社会への取組みを発表しているがRE100の宣言をしている企業は60社弱にとどまっている。根幹となる脱CO<sub>2</sub>の電力も高額でもあり、しかも不足してくる。現在の目標は2013年と比較して、2030年には温室効果ガス削減を46%と位置付けているが、再生エネルギーで賄いきれる削減でもなく、達成は難しく思える。CO<sub>2</sub>排出削減のためにアンモニアを混焼させる方法ではコスト増となる。CO<sub>2</sub>を地中へ注入するCCSは、何

十kmと層状の地質が続いてこそ、大きな効果が見込める対策であり、地盤の起伏が激しい日本では、できるところはほぼ無いと思われる。太陽光発電はどうか。インド北部のバドラ・ソーラーパークは2245MW/日(日本の二人世帯 約690万戸/日)を発電しているのに対し、日本最大の作東メガソーラー発電所(岡山県美作市)では258MW/日であり、その発電量は比較にならない。風力発電も台風・強風国の日本では安定的でなく、狭い設置面積とコストは海外と比較するまでも



ないだろう。このような状況でカーボンニュートラルとなった国内で、産業が海外と競争できるかと聞かれれば??でしかない。そうなると原子力発電へ...となりそうだがここでは触れないでおく。ただ、日本企業の技術・実力はすごいものがある。オーストラリアで、既に始まっている褐炭からの水素ガスを運ぶ水素タンカーは川崎重工がかなり先行している。岩谷産業は米国で強大なグリーン水素製造に参画すると発表、旭化成は水素製造装置の商用化を発表、トヨタの水素エンジンしかり。2030年の削減目標は未達成になるかもしれないが、当面は水素をLNGと同じように輸入し、電力会社による大型水素発電設備を推し進められるのではないかと。その間に水からの水素ガス設備が充実すれば、「グレー水素・ブルー水素」を使わないグリーン水素国となれる上に、高額な再生エネルギーを使わないことで国内産業の覚醒が見込める。日本の底力の集結に期待したい。

### 測ってみよう! 探検隊 Vol.76

#### 生卵は新鮮なほど美味しい?

卵には賞味期限が設けられ、最近は採卵日が表記されている商品も見ようになりました。肉でも魚でもある程度熟成させると美味しくなる場合もあるように、卵も産みたてよりも時間を置いた方が美味しくなる可能性があるのではないかという疑問から、今回は卵に含まれる遊離アミノ酸20種を旨味成分として、測ってみました。新鮮な卵は盛り上がりがあり、弾力もありましたが、総アミノ酸量の増減は誤差範囲の程度という結果となりました。

採卵から分析まで	52日	20日	7日
アスパラギン酸	9	8	8
スレオニン	8	8	8
セリン	10	10	9
アスパラギン	4	5	5
グルタミン酸 など	22	20	20
遊離アミノ酸20種	158	157	156

単位 mg/100mg

### 皆様のお陰で 50周年

創業者(市田與惣次・当時34歳)が日本合成ゴム(株)を退職し、1972年12月、奥様、社員2名の計4名でJR四日市駅近くの貸事務所事業を開始。その後1983年に今の本社(午起2丁目)へ移り、松阪営業所も含めて30名となりました。創業後、大防汚・水濁法・作業環境測定・伊勢湾総量規制・土対法・石綿規制といった環境法令等による事業拡大の後押しもありましたが、三重県内の製造業をはじめとする各企業や行政の皆様を支えられ、応援していただいたことが全てだと思っております。現在は、関連会社の南伊勢マリンバイオを含めると総勢140名となりました。創業者市田からの御礼も届いております。「本当に皆様のお陰です、ありがとうございました。これからも宜しくお願い申し上げます。」

## 50th Anniversary

### プチコラム

**田中 正廣 (代表取締役 社長)**  
当社が代理店をしている、株式会社堀場製作所 名古屋セールスオフィスが”ノリタケの森”にある、イオンモールビルに移転。先日12月14日にオープニングセレモニーがあり参加させていただきました。「集まりたくなる・寄りたくなるオフィス」がフロアのコンセプトとなっており、4階の窓からは、ノリタケの森が見渡せ、気持ちが穏やかになる素晴らしいオフィスでした。



### 編集後記

今月の探検隊のコーナーはお客様のリクエストを受け、生卵中の遊離アミノ酸を測ってみました。こういった疑問をお持ちの方がいらっしゃいましたら、全て採用はできないかもしれませんが、私達も興味がありますので、ぜひご要望をお寄せください。今年も残すところあと僅か。皆様よい新年をお迎えください。(みっちー)

2022